

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2575回	10月27日
新入会員卓話「Tourism for Tomorrow「おもいやり」と「きずな」でツーリズムにできること」木村高宏会員			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2574回	10月20日
米山奨学生卓話 エルデネー・バトドルジ君（モンゴル）			
担当者	米山奨学委員会	例会場	JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

皆さん こんにちは。犬の散歩をしていると金木犀の香りが漂って来ます。昨日も25度を超える夏日ですが植物はしっかりと暦を刻んでいます。皆さんもお変わりありませんか。

さて、先週も触れたイスラエルとパレスチナの紛争が激化しています。ウクライナ紛争の時もそうでしたがこれほどの情報戦になるということは以前なら考えもしなかったでしょう。SNSの発達で世論を巻き込み政治的な動きにまで発展します。一人一人が冷静に情報分析し考える必要性を今更ながらに考えます。

ここにおられる会員の方はそれぞれが経営者であり管理者であることから自ら考える能力をお持ちですが一般的に日本人は同調意識が強く自ら決断するトレーニングを受けていません。私は歯科医師と同時に卒後早くから教育研修に関わっており、自ら考えることの重要性を深く認識しているつもりです。ただその情報源、ソースともいいますが医療関係の論文では引用論文を提示して論理を組み立てないと単なる意見としかみなされず全く顧みられることはありません。困難だとは思いますが情報提供人などは除いて、新聞などもソースを提示しての報道になったらいいな

と思っています。

今日は米山奨学生のエルデネ、バトドルジさんとカウンセラーの吉田茂様が来られています。お忙しいところ来訪ありがとうございます。

後ほどお話を頂戴いたしたいと思います。どうぞよろしく願います。

吉岡幹事報告

- 昨年度地区大会記録誌、お持ち帰り下さい。

出席報告

出席委員長：低田陽介

会員数 /	42名	出席規準数 /	39名
出席者数 /	21名	欠席者数 /	18名
出席率 /	53.85%	ビジター /	1名
最終出席率 /	10月6日	68.42% →	78.95%

ビジター

高松南RC 米山カウンセラー 吉田茂様
米山奨学生 エルデネー・バトドルジ君

10月27日 今日は何の日	今日生まれの有名人
仏壇の日 1859年 吉田松陰、刑死(享年29歳) 1890年 初のエレベータ浅草に登場	1966年 高嶋政伸 1962年 渡辺いっけい 1960年 山村紅葉
誕生花 石竹(セキチク)、花言葉は“苦い追憶”	1949年 堀内孝雄 1933年 半村良 1920年 大屋政子
誕生石 トパーズ(topaz)、宝石言葉は“希望”	

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



ニコニコBOX	
ニコニコにご協力いたします。	村上
遅刻・早退	4件
合計 5 件	
本日の合計	5,000 円
2023-2024 年度累計	336,000 円

メイクアップ

10月13日 さぬきRC 江島
10月17日 坂出RC 村上 岡田 低田

2023-2024 年度 第 4 回 定例理事会

日時 2023年10月20日
場所 JRクレメントホテル高松例会場
出席者 磯崎、江島、村上、堀井、大西、田中、川口
議題 ① 名簿（手帳）の作成について
→速やかに作成する

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

11. 無知な奴ほど聾が大きい

In the clashes between ignorance and intelligence, ignorance is generally the aggressor.

無知と知性の衝突となれば、攻撃をかけてくるのは大体無知の方だ。

ずばり人生の真を衝いて見事である。あらぬ言いがかりをつけられて迷惑した経験を持つ方もあろう。「人は知る所が少なければ少ない程知っていると考える」などとも彼は言っているのだが、これなど一面老荘の思想に通ずるものさえある。ともかくこんな情景は、我々日常いやという程見せつけられているのではないか。第一今の日本のマスコミの騒がしさなどその最たるものだろう。

だが、それも他人事ですんでいる中はいいが、我々自身その渦中に巻き込まれたら災難だ。そんな時は、これも人生だと観念して黙殺する以外仕方あるまい。無知という奴は、手を替え品を替え、あらゆる卑劣な手段を弄してでも自分の考えを押し通そうとするものである。ポールもそう言っているのだが、何と我々の周辺にもそんな事例はいくらでもあるではないか。

ポールはまたこういうことも言っている。彼の弁護士生活の経験からすると、凡そ法廷で原告被告の争いとなった時、裁判官というものは得てして主張の強い方に見方する。世の中はそういうものなのだ。殊に悪智恵の発達した人＝頭が良くて性格の曲がった人＝に会ったらたまらない...

悪は偽り裏切り、しかも理屈をこねる

— カント —

例会スナップ



次週のプログラム 第 2576 回 11月10日

会員卓話	
担当者	プログラム委員会
例会場	JRホテルクレメント高松